

# 「信州自然留学のすすめ（指針）」について

山村留学生やその両親が山村留学の地で安全・安心に暮らし、希望する体験活動や特色ある教育を受けることができるよう、県として新たに「信州自然留学のすすめ（指針）」を策定。各受入団体の取組を公表することで受入団体における活動の透明性を確保するとともに、山村留学を検討している親子が希望する活動をしている団体を選択できるようにする。

信州自然留学のすすめ（指針）（仮称）は、「安全・安心編」、「特色編①」の山村留学を選ぶ際の大切なポイント70項目と、「特色編②」の各団体が打ち出すための自由記載からなる。 ※NPO法人全国山村留学協会が公表するガイドラインを基に策定

## 安全・安心編

県として可能な限り受入団体に遵守してほしい42項目

- 【受入団体】
  - ・山村留学の目的を文章化している
  - ・連絡相談窓口は設置されている
- ⋮
- 【運営状況】
  - ・留学前の体験留学を行っている
  - ・留学に関わる情報は、施設や学校、行政等で共有されている
- ⋮
- 【指導員】
  - ・専従の指導員が配置されている
  - ・複数の指導員が山村留学に関わっている
  - ・活動を実施するための知識や技術の定期的な研修を行っている
- ⋮
- 【受入家庭】
  - ・栄養面を考慮した食事が提供されている
  - ・受入家庭は地域に根付いている人である
- ⋮
- 【安全管理】
  - ・山村留学施設にはAEDが設置されている
  - ・定期的に避難訓練が実施されている
  - ・食事提供における衛生管理が行われている
  - ・緊急時に対応できる連絡体制が構築されている
- ⋮
- 【学 校】
  - ・山村留学の窓口となる担当教職員がいる
  - ・留学生の保護者が学校行事に参加機会がある
  - ・地元PTAは山村留学を理解し支援している
- ⋮

## 特色編①

受入団体の受入状況や活動方針などの特色28項目

- 【受入団体】
  - ・留学を終えた後の同窓会組織がある
- ⋮
- 【運営状況】
  - ・毎年留学生は5人以上いる
  - ・途中入退でなく年度単位での留学を推奨
- ⋮
- 【指導員】
  - ・食事の提供をする専従スタッフがいる
  - ・指導員は地域住民と連携して地域活動を行っている
- ⋮
- 【受入家庭】
  - ・受入家庭は休日等に野外活動が組まれている
  - ・テレビや漫画を見ることに一定のルールがある
- ⋮
- 【学 校】
  - ・ホームページ等で学校の運営状況が公開されている
  - ・学校の運営や授業に地域の人がかかわっている
- ⋮
- 【体験活動】
  - ・伝統文化や地域の特色を活かした体験活動がある
  - ・農作業などの生産活動に携わる体験活動がある
- ⋮

## 特色編②

各団体の打ち出すための自由記載欄

- 受入団体の教育方針や目指す姿、地域資源を活かした活動など力を入れている部分の記載 →「私たちの特徴」
- 受入団体が山村留学をとおして実施している省エネ活動や環境教育などの取組等についての記載